

(技術士事務所 稲葉 IT ガバナンス研究所 脱炭素 DX モニタリング)

第14号: 2025年6月30日(月) ~ 2025年7月6日(日) 報道分

週刊 脱炭素 DX ニュースウォッチ 2025（日経 XTech 編）の第 14 号を配信いたします。

<目次>

- ☐ 6/30 (月)
- ☐ 7/1 (火)
- ☐ 7/2 (水)
- ☐ 7/3 (木)
- ☐ 7/4 (金)
- ☐ 7/5 (土)
- ☐ 7/6 (日)

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nmc/18/00011/00305/>

大手重工 3 社（三菱重工、川崎重工、IHI）は 2025 年 3 月期にいずれも過去最高の業績を記録し、2026 年 3 月期も好調を見込んでいます。三菱重工は GTCC を中心にガスタービン需要が拡大し、米関税の影響も限定的です。川崎重工は航空宇宙の採算改善と ES&M 事業の貢献が業績を押し上げ、二輪車には関税影響があるものの軽微と見えています。IHI は航空エンジンと防衛事業の伸長で大幅増益を達成し、関税による 200 億円の影響を見込んで高水準を維持する見通しです。

【6/30・日経 XT】 挑戦者 研究所は脱秘密主義、社外との連携も推進 藤山優一郎（ENEOS ホールディングス常務執行役員 CTO、ENEOS 常務執行役員） 木暮 早希 日経クロステック 佐藤 雅哉 日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nmc/18/00009/00097/>

ENEOS は脱石油に向けた変革を進める中で、2024 年に CTO 職を新設し、研究開発のオープン化と社外連携を強化しています。自前主義から脱却し、大学や企業と共同開発を推進。液浸冷却液や有機触媒などの実績もあり、知財活用や技術ライセンスにも力を入れています。また、木材由来メタノールの合成燃料や実証プラントの稼働など脱炭素技術の実用化にも注力。複数シナリオを想定し柔軟に対応する「筋肉質な体制」を目指しています。

【6/30・日経 XT】 素材産業を揺るがす、欧州廃車規制の波紋 特集 2 再プラ率や電池設計に制約、2031 年の新車から Part2 廃車規制案とは 江口 剛 日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nmc/18/00171/00002/>

欧州委員会が提案した新たな廃車規制案は、2031 年以降の新車に再生プラスチックの使用や部品の取り外しを義務付ける厳しい内容で、自動車設計に大きな影響を与えます。これに対し欧州議会は一部緩和案を提示し、産業競争力への配慮を示しました。こうした動きは、日本企業にとってリサイクル技術の強みを生かす商機にもなります。三菱ケミカルや住友化学はすでに実証実験や実用化を進めており、日本政府も支援体制を整えつつあります。

【6/30・日経 XT】 AI とデータ連携で進化、欧州のものづくり 特集 1 産業ごとのユースケースで導入目前、国をまたいだ接続も実証フェーズへ Part3 データ連携の現在地 木暮 早希 日経クロステック 長場 景子 日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nmc/18/00170/00003/>

欧州では製造業のデジタル変革を目的に、産業別データ連携が加速しています。半導体分野では「Semiconductor-X」が始動し、供給網の最適化やカーボンフットプリント削減を図っています。さらに、ドイツ主導の国際枠組み「IMX」では、日米欧などが国境を越えたデータ連携を実証し、標準化と実用化に向けた技術検証を進めています。日本企業も積極参画しており、欧州との協働を視野に、自国のデータ連携基盤整備にも取り組みが広がっています。

【6/30・日経 XT】 素材産業を揺るがす、欧州廃車規制の波紋 特集 2 炭素繊維規制案は撤回検討、2025 年末までには最終決定 Part1 炭素繊維規制の動き 江口 剛 日経クロステック 長場 景子 日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nmc/18/00171/00001/>

EU が自動車の炭素繊維を有害物質と同列に扱う規制案を示したことで、世界の素材産業に波紋が広がりました。反発を受けて EU は撤回を検討中で、2025 年末までに最終決定する見通しです。ただし、炭素繊維強化樹脂（CFRP）はリサイクル性が低く、規制対象となる可能性が残されています。特に欧州では環境負荷の観点から CFRP 採用が減少傾向にあり、自動車業界での活用は厳しい状況が続きそうです。

[目次へ](#)

【7/1・日経 XT】自動車グローバルウオッチ 自動運転トラックと鉄道輸送で物流の課題解決に挑む 櫛谷 さえ子 日経 Automotive 専属ライター

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03214/062600016/>

日本通運、JR 貨物、T2 の 3 社は、自動運転トラックと貨物鉄道を組み合わせた「モーダルコンビネーション」の国内初の実証実験を開始しました。物流課題であるドライバー不足や災害対応、脱炭素に貢献する輸送モデルとして注目されています。今回は札幌～東京を鉄道、東京～大阪を自動運転トラックで結ぶルートで、共用コンテナの有効性や輸送品質を検証します。将来的にはレベル 4 自動運転の導入も視野に入れています。

[目次へ](#)

□ 7/2 (水)

【7/2・日経 XT】技術トレンドを反映した企業戦略の策定法 第 4 回 SWOT や市場動向調査で環境分析、技術トレンドを反映した戦略策定 金谷 敏尊 アイ・ティ・アール 取締役／リサーチ統括ディレクター／プリンシパル・アナリスト

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03149/063000005/>

企業が技術トレンドを反映した戦略を策定するには、まず外部・内部環境を客観的に分析することが重要です。SWOT や市場動向調査などの環境分析ツールを適切に選び活用することで、有益な示唆を得て、的確な戦略立案が可能になります。特に変化の激しい現代においては、データドリブンのアプローチが不可欠であり、経験や勘に過度に頼る戦略策定はリスクを伴います。

【7/2・日経 XT】相棒は生成 AI 第 6 回 建設会社の生成 AI 活用が本格化、RAG で専門分野への対応も 奥山 晃平 日経クロステック／日経アーキテクチャ 山崎 颯汰 日経クロステック／日経アーキテクチャ

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03244/061900006/>

建設業界で生成 AI の活用が本格化しています。長谷工グループは社員向けに動画教育を実施し、熊谷組はワークショップを通じて業務に即したユースケース集を作成しました。さらに、各社は技術文書などを活用した RAG（検索拡張生成）システムの整備にも注力しており、専門的な質問にも対応可能な仕組みを構築中です。RAG の導入により、建設現場での生成 AI の実用性が高まりつつあります。

【7/2・日経 XT】トレンド解説 from 日経エネルギーNext 米国で進む原子力回帰、閉鎖・建設中止原発の再開の動き相次ぐ（第 1 回） げんしろう ジャーナリスト

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02421/061600087/>

米国で原子力発電の再評価が進み、閉鎖・建設中止となった原発の再稼働や建設再開の動きが活発化しています。背景には脱炭素化の潮流と、生成 AI によるデータセンター電力需要の急増があります。再稼働には巨額の政府支援と長期の電力購入契約（PPA）が不可欠であり、原発の国家安全保障上の重要性も強調されています。原子力は「第 2 次ルネサンス」の兆しを見せています。

[目次へ](#)

□ 7/3 (木)

【7/3・日経 XT】テクノロジー未来投資指数 カーボנקレジット格付け CO2 削減 山崎 颯汰 日経クロステック／日経アーキテクチャ

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/keyword/18/00020/062300052/>

テクノロジー未来投資指数は、Zuva のデータを基にスタートアップの資金調達動向を分析し、成長期待を偏差値で示した指標で、今回は 52.4（前期比 +0.8）でした。記事では、CO2 削減策として注目されるカーボנקレジット格付けに

も焦点を当てています。これは温暖化ガスの排出削減効果を客観的に評価する仕組みで、国内でも活用が進む一方、信頼性にばらつきがあるのが課題です。今後は、透明性の高い格付けの整備が普及のカギとなります。

【7/3・日経 XT】 有望テックランキング 50 第 4 回 テクノロジー未来投資指数の最新版、ディープフェイク検出が 2 位に躍進 坂本 曜平 日経クロステック 野々村 泰香 AI・データラボ

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03191/062700004/>

日経クロステックと Zuva が開発した「テクノロジー未来投資指数」の最新版では、スタートアップ 155 万社超の資金調達動向を分析し、将来有望な技術をランキング化しています。1 位は CO2 除去技術の「岩石風化促進」、2 位には生成 AI の拡大に伴いニーズが急増した「ディープフェイク検出」が急浮上しました。AI 関連の資金流入が活発な一方、「宇宙資源採掘」や「山火事検知」など、脱炭素・防災に資する技術の台頭も目立ちます。

【7/3・日経 XT】 テクノロジー未来投資指数 金属有機構造体 新素材 奥山 晃平 日経クロステック／日経アーキテクチュア

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/keyword/18/00020/062300061/>

テクノロジー未来投資指数において、金属有機構造体（MOF）は偏差値 54.2 で前期比微減となりました。MOF は金属イオンと有機配位子からなる多孔性材料で、気体の選択的吸着や高効率な貯蔵が可能です。特に CO2 の回収や水素の貯蔵など、脱炭素分野での応用が期待されています。日本人研究者が先導してきた技術ですが、現在の普及は限定的で、量産技術の確立とコスト低減が今後の鍵となります。

【7/3・日経 XT】 テクノロジー未来投資指数 磁気冷却 冷却技術 松元 則雄 日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/keyword/18/00020/062300066/>

テクノロジー未来投資指数において、磁気冷却技術は偏差値 62.7 と高水準で、前期比でも伸びを示しました。磁気冷却は磁場による相変化を利用して冷却を行う技術で、コンプレッサーを使わずに冷却を実現できる点が特徴です。現在の冷却技術を上回る効率が期待されており、脱炭素社会の実現に貢献する有望な冷却手法とされています。今後の実用化に向けて注目が高まっています。

【7/3・日経 XT】 有望テックランキング 50 第 4 回 テクノロジー未来投資指数の最新版、ディープフェイク検出が 2 位に躍進 坂本 曜平 日経クロステック 野々村 泰香 AI・データラボ

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03191/062700004/>

日経クロステックと Zuva が共同で作成した「テクノロジー未来投資指数」の最新版で、AI や宇宙関連技術のほか、「ディープフェイク検出」が 2 位に急浮上しました。生成 AI の普及に伴う偽情報対策への社会的要請が背景にあります。1 位は CO2 を吸収・固定化する「岩石風化促進」技術で、脱炭素と農業分野での効果が期待されています。技術革新の動向を示すこの指数は、将来性のある分野への投資判断に有用です。

[目次へ](#)

□ 7/4（金）

【7/4・日経 XT】 ニュース解説 NVIDIA、AI データセンターで直流 800V 推進 インフィニオンやロームと 齊藤 壮司 日経クロステック／日経エレクトロニクス

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/10815/>

NVIDIA は AI データセンターの電力効率向上を目指し、直流 800V の給電方式（HVDC）を推進します。従来よりも電力損失が少なく、サーバー内部のスペースを有効活用できる利点があります。インフィニオンやロームなどと連携し、

SiC や GaN 製パワー半導体の活用も視野に入れています。ただし、日本での導入には電気事業法による高圧規制が障壁となる可能性があり、運用面での課題も残されています。

【7/4・日経 XT】ニュース 東北大学など、100℃以下でも高密度で蓄熱できる材料 松田 千穂 ライター

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/24/02653/>

東北大学と日本原子力研究開発機構の研究グループは、100℃以下でも高密度に蓄熱可能な新材料を開発しました。層状の二酸化マンガ（ MnO_2 ）を微細化することで表面積が増加し、水分子の層間インターカレーションと表面吸着の2段階蓄熱メカニズムが機能。従来より1.3倍高い蓄熱エネルギー密度を実現しました。これにより、低温廃熱の再利用や太陽熱を活用した夜間暖房など、脱炭素社会に向けた低温熱利用への応用が期待されます。

目次へ

☐ 7/5 (±)

該当記事なし

目次へ

☐ 7/6 (日)

該当記事なし

目次へ

[illegible]

(技術士事務所 稲葉 IT ガバナンス研究所 脱炭素 DX モニタリング)

週刊 脱炭素 DX ニュースウォッチ 2025 第 14 号 : 7/6 配信

編集者：稲葉 裕一 (principal@inaba-itgl.com)

ご意見・ご要望やお気づきの点があれば、編集者までご連絡ください

[illegible]